



元気に登校 本気で学び 笑顔で下校する 向小っ子

# 向町小だより

最上町立向町小学校  
令和6年度学校だより No.7  
令和6年10月15日 校長室

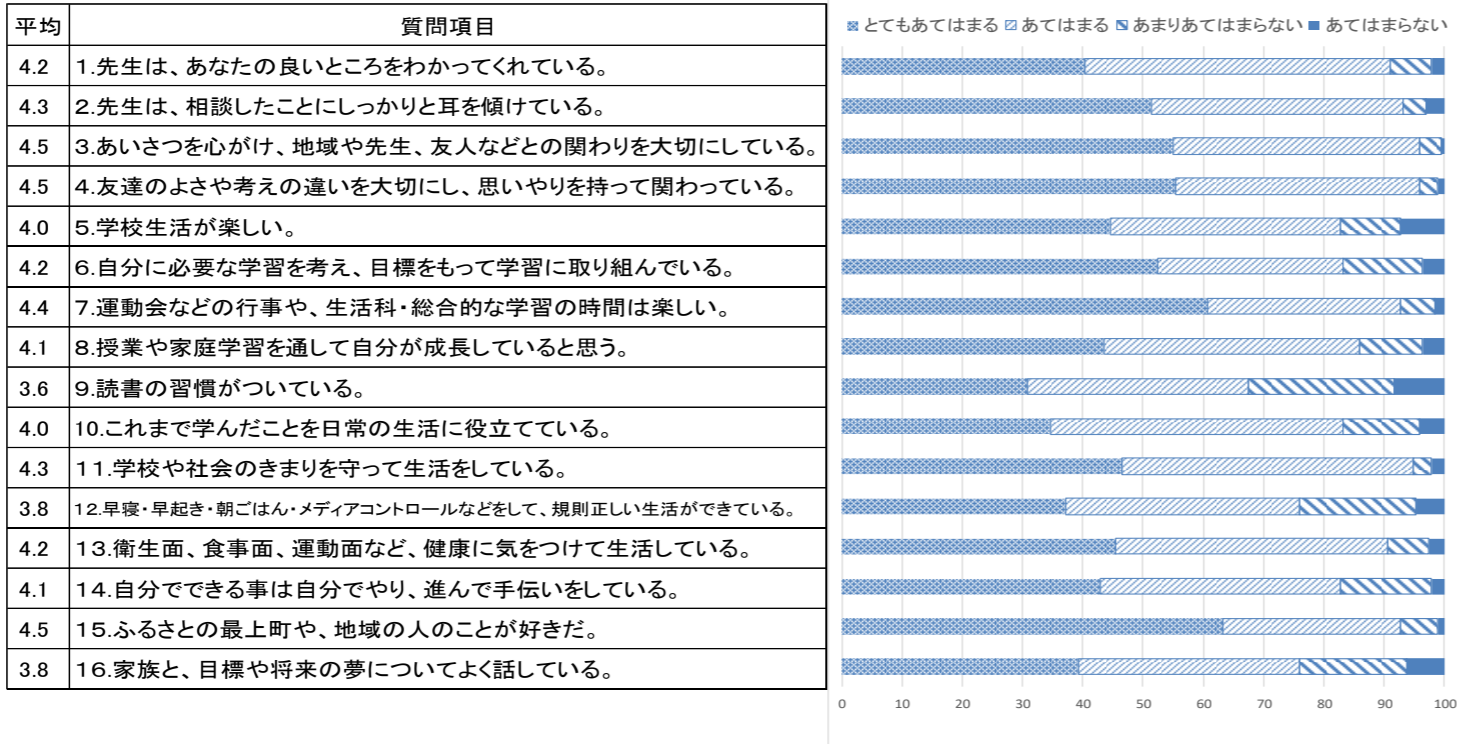
## 回 覧

◆夏休み明けに実施した「生活リズムアンケート」の結果からは、「早起き」「朝ご飯」については、良好な結果でした。「早寝」については、高学年になるにつれ、守れなくなる傾向にありますが、全体を見ると大きな課題にまでは至っていません。しかし、「メディアコントロール」については、保護者アンケートの結果でも、同様に、課題として表れています。町や地区で取り組んでいるメディアコントロールウィークは年2回なので、1年を通じて、各家庭で、約束を作って取り組んでいくことが大切だと思います。

## 学校評価アンケート(上期)の結果について

4月から8月までの生活の様子について子どもたちと保護者の皆さんから ABCD の4段階で評価をしていただきました。A=5点として、B・C・Dも点数化し、平均値を出しました。

### 【児童のアンケート結果】



### =良好なものは、・・・=

- あいさつを心がけ、地域や先生、友達との関わりを大切にしている。(4.5)
- 友達のよさや考えの違いを大切に、思いやりを持って関わっている。(4.5)
- 運動会などの行事や、生活科・総合的な学習の時間は楽しい。(4.4)
- ふるさとの最上町や、地域の人のことが好きだ。(4.5)



◇今年度は、「挨拶や人間関係づくり」「個性や思いやり」に関する項目は、特に良好な結果でした。子どもの友達同士の関係では、「仲間はずれ」や「いじわる」などのトラブルが日々起こっています。しかし、子ども同士で自らそれらのトラブルを解決したり、トラブルを起こさないように「思いやり」をもって行動したりすることが増えています。今後も、道徳の授業や学級会での話し合い、仲間作りゲームなどを通して、望ましい人間関係作りに努めていきたいと思ひます。

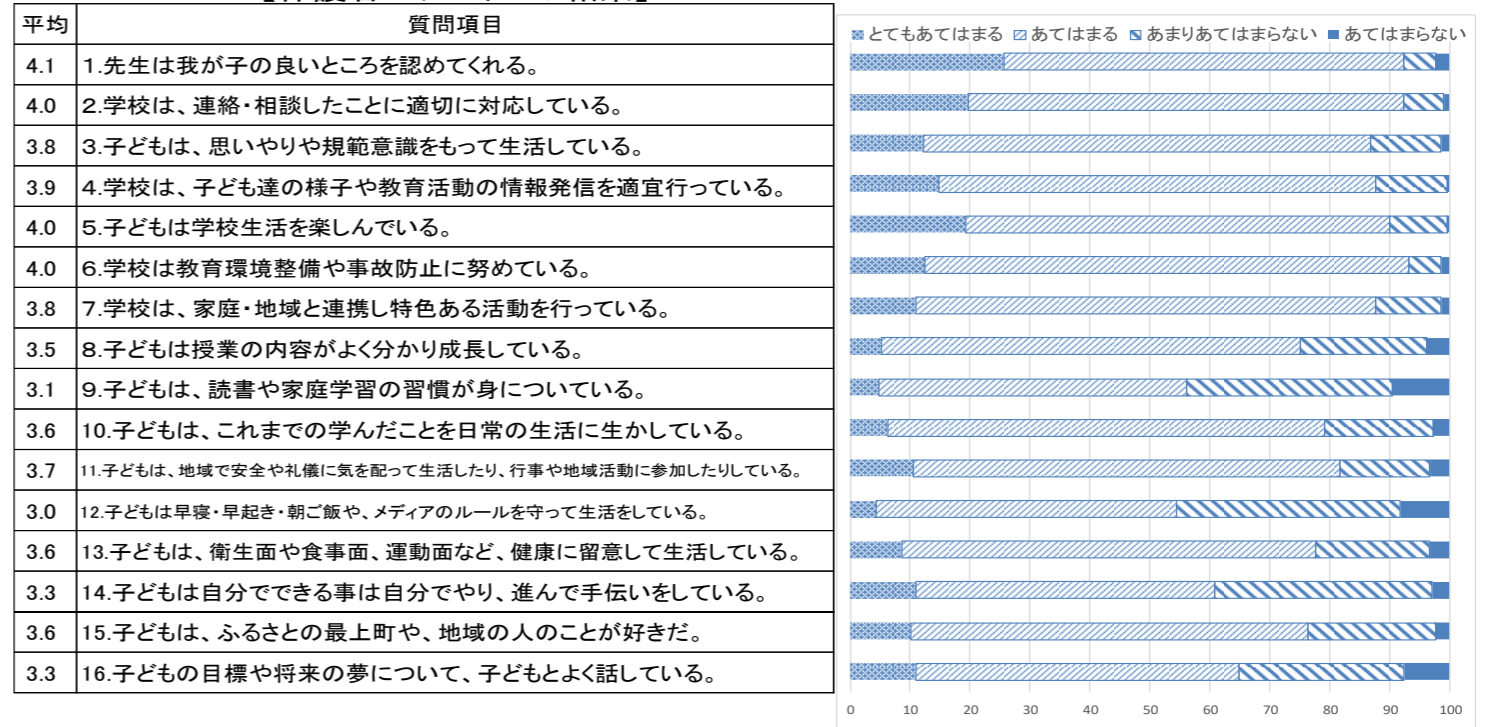
◇生活科や総合的な学習の時間では、農業・商業・福祉・環境等、さまざまなことについて、町内で活動している方々から話を聞いたり、体験したりして、学びを深めています。これからも、「ヒト、モノ、コト」について、子ども達に「本物の体験」を提供できるように、関係機関と協力して授業作りを行っていきます。

### =課題となるものは、・・・=

- 読書の習慣がついている。(3.6)
- 早寝・早起き・朝ごはん、メディアコントロールなどをして、規則正しい生活ができている。(3.8)
- 家庭と、目標や将来の夢についてよく話している。(3.8)



### 【保護者のアンケート結果】



### =良好なものは、・・・=

- 先生は、我が子の良いところを認めてくれる。(4.1)
- 学校は、連絡・相談したことに適切に対応している。(4.0)
- 子どもは、学校生活を楽しんでいる。(4.0)
- 学校は、教育環境整備や事故防止に努めている。(4.0)

◇昨年度に引き続き、保護者の方より、「子ども理解」「相談対応」「教育環境整備および事故防止」について、高く評価していただいたことは、とてもありがたく思っています。高く評価していただいているが、生徒指導に関する課題である「いじめ」、安全指導に関する「事故」等の根絶には至っていません。今後も、これらの未然防止を一番に考え、職員が一体となって小さな芽を摘んでいきたいと思ひます。引き続き、保護者の皆様からは、迅速な情報提供をお願いします。

### =課題となるものは、・・・=

- 子どもは、読書や家庭学習の習慣が身についている。(3.1)
  - 子どもは、早寝・早起き・朝ご飯や、メディアのルールを守って生活している。(3.0)
  - 子どもは、自分でできることは自分でやり、進んで手伝いをしている。(3.3)
  - 子どもの目標や将来の夢について、子どもとよく話している。(3.3)
- ◆子どもの読書習慣を高める方法として、親子での読み聞かせの機会を設けたり、一緒に読書をする時間を設けたりすることも有効です。保護者の皆様もお忙しいこととは思いますが、休日などを利用して、試してみてください。
- ◆家庭学習の習慣化については、家庭学習の見取りが大切だと考えています。学校では、これからも、毎日の家庭学習の内容をしっかりと確認していきたいと思ひます。家庭においても、子どもの学習に向かう姿や学習の内容を、日々見守っていただけたら幸いです。
- ICTを活用した学び方として、タブレット端末(クロムブック)を持ち帰っての学習も導入していく予定です。また、学習の内容が濃く、参考となる児童の自学ノート等を紹介する取り組みも引き続き行い、子どもへの意欲づけと、家庭学習方法および内容の改善を図っていきたく考えています。
- ◆「主体性・自立と手伝い」の項目については、児童アンケート結果との乖離がありました。どの項目においても、児童のポイントよりも、客観的に子どもを見ている保護者のポイントが低い傾向ではありますが、この項目を比較視すると、0.7ポイントも差がありました。子どもへの保護者の期待感からの回答結果かも知れません。子どもの「出来」「不出来」ではなく、活動を自ら進んでやったことを、たくさん褒めてあげてください。